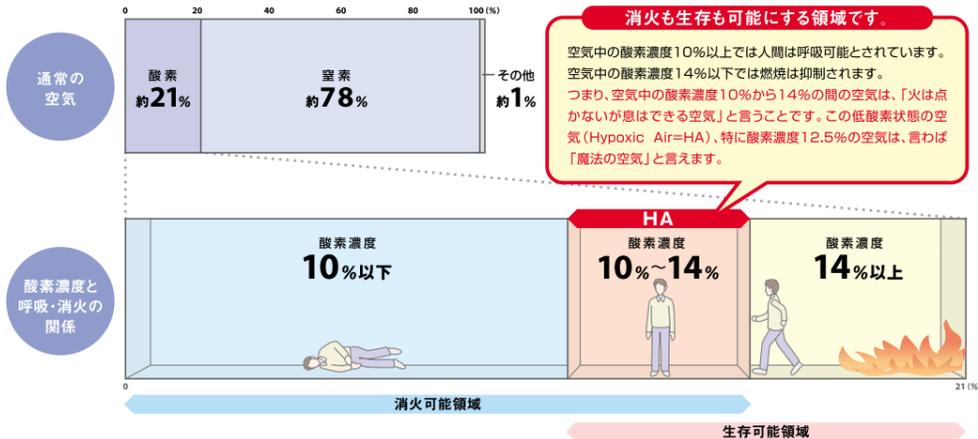
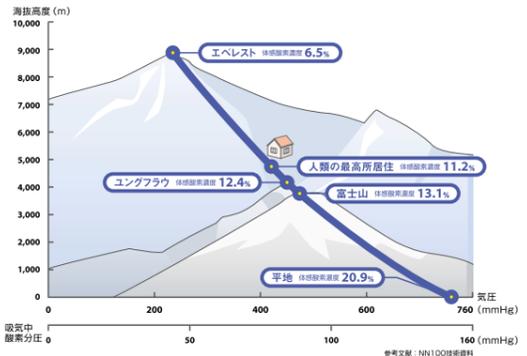


魔法の空気 HA とは

■空気は窒素約78%、酸素約21%、その他約1%でできています。空気中の酸素濃度と人間の呼吸、燃焼の関係を見てみると…。



●海抜高度と等価酸素濃度

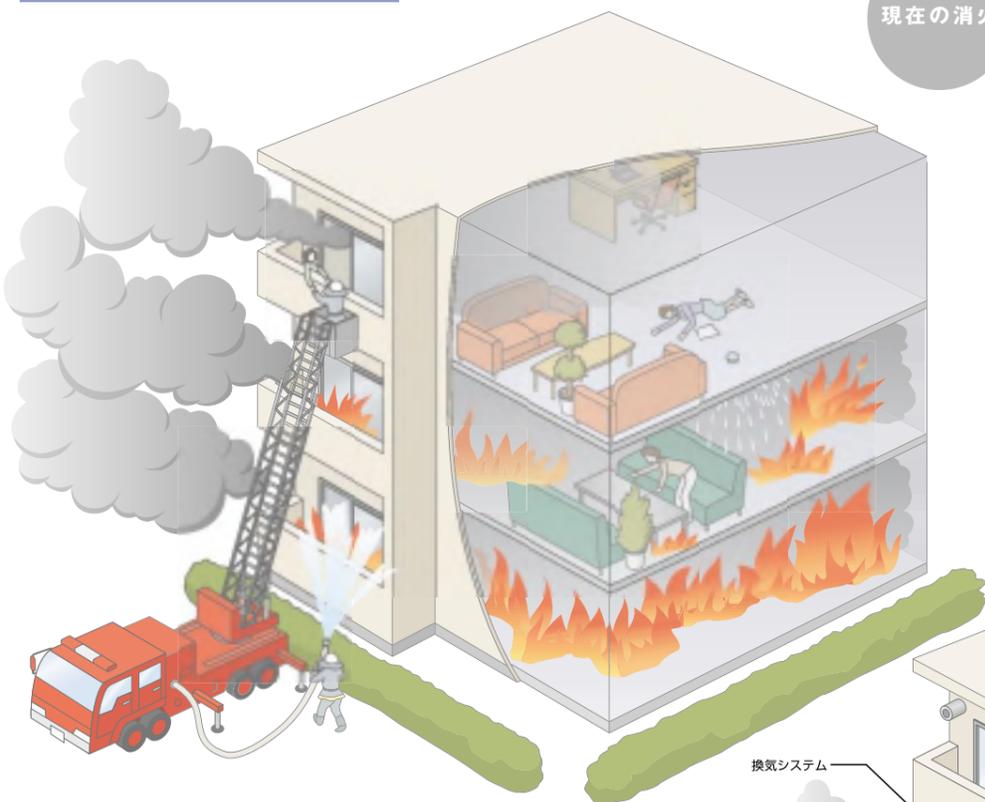


●EPAによるIG (窒素ガス) の使用条件

酸素濃度	制 限 用 意
12%以上	制限なし
10%~12%	1分以内に退避出来ること
10%以下	通常無人の防護区画で作業等特定のものが30秒以内に退避できること。

だから、人命を守りながら消火ができるのです。

ビル火災消火活動イメージ



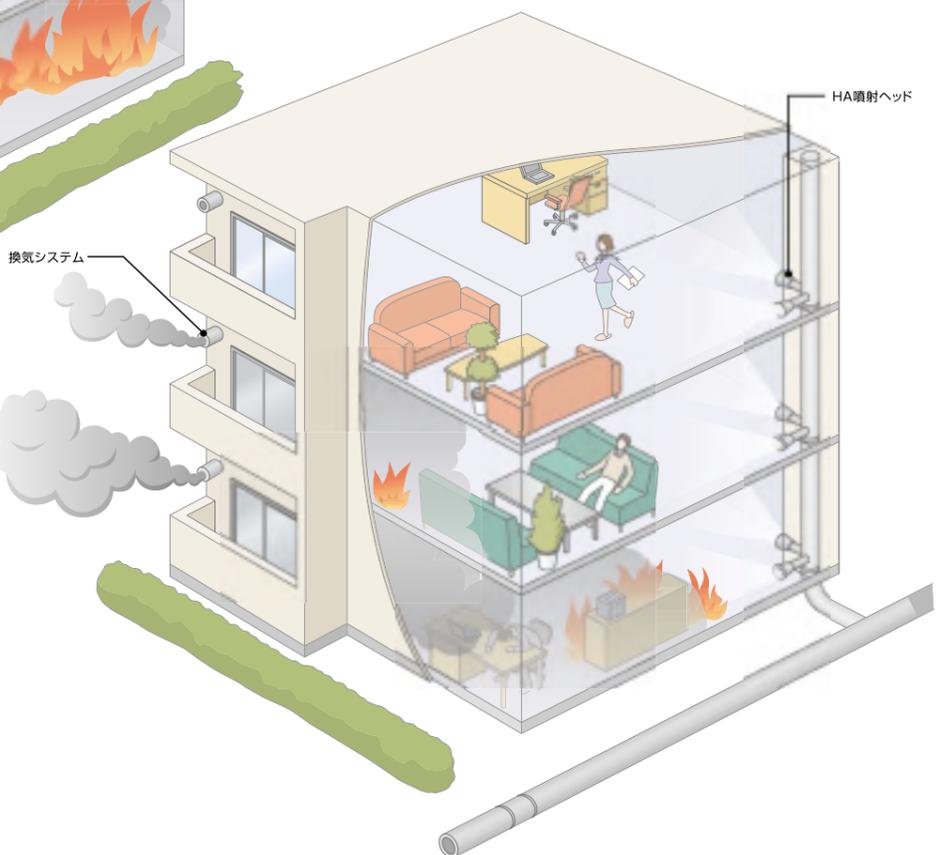
様々な消火、避難設備はあるが、危険はいっぱいです。

火災を早期に見出し、知らせる自動火災警報装置、初期消火のための消火器やスプリンクラー、そして、避難設備など、防火対象物ごとに様々な設備があります。更に、通報を受けた消防が、消火活動や炎や煙と戦いながら、決死の救助活動を行います。それでも、高層ビルや地下街などは、いったん火災が起これば消火や救助が困難で、消防法が守られていても大変危険な状況と言えます。

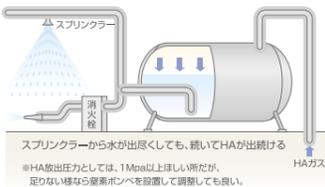
消火しながら、呼吸や視界を確保し、救助活動もサポート。

HAISIS

火災を感知すると、自動的にHAが放出され、同時に換気システムが作動して、部屋の空気を完全にHAへ置換えます。煙や有毒ガスは、希釈~掃気され、呼吸の確保と消火が行われます。視界も完全に確保され、避難も消防隊による救助活動もスムーズに行え、消防車は建物外部の消火に専念できます。



応用例1



HAISIS-WATER 【ハイス ウォーター】

HAISISのガス圧を利用して、水を入れたタンクを加圧すれば、ポンプや電源に頼らないスプリンクラー設備や、屋内消火栓設備が可能となります。さらに、水が出尽くした後もHAにより救命消火が行われるという2段階の消火システムです。

応用例2



HAISIS-FOAM 【ハイス フォーム】

より短時間により効率的に消火を行いたい所には、HA泡消火システムを提案します。泡としてHAを供給すれば既存空気との置換も容易で、無駄なく確実に救命消火が可能となります。ただし泡は、被災者の呼吸を妨げないよう、やわらかく、消泡性の高いものを選ぶ必要があります。